

日時：2007（平成19）年10月27日（土）午前11時30分から午後00時40分まで

場所：熊本大学 文学部1階 第一・第二会議室

出席者：28名（評議員24名+九州地区代表委員+監査+支部長（評議員内数）+事務局員2名）

*評議員（34名）のうち23名が出席すれば3分の2以上の出席となる。

議長：山内（支部長）

記録：毛利（事務局）

1. 活動報告

過去1年間の主な活動として、第59回支部大会開催および『九州英文学研究』第24号の発行が無事に終了したことの報告が、支部長よりあった。現在の会員状況に関しては、昨年より10名少ない502名であること、その内、会費納入者は242名であることが述べられた。また、支部会員のうち日本英文学会本部会員にもなっている会員は193名で全体の38.4パーセントであることも報告された。

2. 会計報告

事務局より2006（平成18）年度の会計報告がなされた。監査の山田英二先生による会計監査確認の報告がなされた後、満場一致で会計報告が承認された。

3. 次年度開催校について

第61回支部大会は福岡大学で開催されることが承認され、開催校選出評議員の山内（支部長）より挨拶があった。また、第62回大会は、ローテーションに基づき宮崎地区で担当していただきたいとの打診が支部長より井崎浩評議員（宮崎大学）になされた。「この話は持ち帰って検討したい」との返事であった。

4. 日本英文学会全国大会の運営について

本年9月29日に行われた本部理事・各支部長の合同会議において提示された全国大会に関する原案（各支部持ち回りで全国大会を開催する案）が支部長より報告・説明された。

「九州支部としては2011年度に九州地区で全国大会を行うという原案に従う」ことを、満場一致で了承した。また、全国大会を行う2011年度には支部大会を開催しない（順延する）ことが満場一致で了承された。

5. 日本英文学会本部役員（評議員、理事）の選出について

日本英文学会が一般財団法人になったことを受け、役員を選出方法が変わることが支部長より報告された。九州支部としては「各支部より、評議員（任期4年）と理事（任期2年）を各1名選出する」という合同会議の原案（会長案）に賛成することが満場一致で決まった。また、本部役員の時年制に関する変更（従来の60歳時年を65歳時年とする）をうけ、当面の役員選出法について下記のような支部長案が提示され、満場一致で承認された。なお、本部や他支部の今後の動向も踏まえて、将来的にはより民主的な選出法（たとえば全評議員による投票など）を検討することが申し合わされた。

当面の評議員及び理事の選出方法：「評議員」は、支部評議員と支部編集委員の兼任者の中から時年条件をクリアする者を互選により選び、評議員会の承認を得ることとする。「理事」は、支部長かその経験者で時年条件をクリアする者の中から選び、評議員会の承認を得ることとする。

以上